日高屋に見習いスタッフとして配膳・運搬ロボット50台入社決定

株式会社ハイデイ日高（本社：埼玉県さいたま市大宮区／代表取締役社長：高橋均）は、株式会社USEN-NEXT HOLDINGS（本社：東京都品川区、代表取締役社長CEO：宇野
康秀）のグループ会社である株式会社USEN（本社：東京都品川区、代表取締役社長：田村
公正）協力のもと、配膳・運搬ロボット「KettyBot（ケティボット）」４０台と「BellaBot（ベラボット）」１０台を「中華食堂日高屋」の５０店舗に見習いスタッフとして配属を開始しました。

ハイデイ日高では、新型コロナウイルスの影響による時短営業後の人手不足によって、採用及び新人の教育時間の確保が課題となっていました。そこで、日高屋目黒東口店にて約３週間、KettyBot(ケティボット)とBellaBot(ベラボット)の２種類のタイプの違う配膳・運搬ロボットのインターンシップを実施。

その結果、５５cmの幅も通過できるコンパクトさが魅力のKettyBot(ケティボット)は、駅前立地の店舗に、モニターに表示される猫の豊かな表情、キュートな音声がかわいらしいBellaBot(ベラボット)は、お子様連れが多く、店内も広い郊外型店舗に配属することとしました。

「この配膳・運搬ロボットの導入を通して、ハイデイ日高では、お客様満足度の向上と営業効率の最大化を実現したいと考えています」（営業管理部長 青野）

配属前は、配膳よりも下膳時の運搬を中心に活躍することを想定。特に、１度に複数卓の片づけが可能になる事は、ピークタイムにお客様のスムーズなご案内が実現し、回転率の改善につながることを期待していました。
実際にインターンシップを開始すると、配膳・運搬ロボットの停止場所が非常に正確であることに加え、動きもとてもスムーズでラーメンや飲み物を安定して運べることが判明。結果的に、お客様にも喜んでいただけることがわかりました。
また、操作もわかりやすく、インターンシップ初日であるにもかかわらず、予想以上に店舗従業員とのチームワークもバッチリ。結果的に、配膳・下膳の両方で、即戦力として大活躍しています。

お客様の各テーブルまで配膳・運搬ロボットが移動することによって、今までは何度も往復しながら行っていた配膳や下膳が１度で可能になり、営業効率がUPしています。しかも、配属したその日から活躍してくれるので、その分採用や教育時間を充実させることができ、コスト削減にもつながり課題解決の一端となっています。さらに、店舗従業員が重たいものを持たないことが、従業員の足腰負担の軽減にもつながっています。
既に配属されている配膳・運搬ロボットは、店舗従業員からも「一緒に楽しく働ける」と好評で

、専用の名札に、各店舗の店長が命名した愛称をつけて勤務しています。

「中華食堂日高屋」は、既に導入しているタッチパネル式のオーダーシステムやキャッシュレス決済と併せて、ITデジタルを活用した顧客満足度の向上や従業員の労働環境の整備に取り組んでいきます。

1.配属店舗
・日高屋 目黒東口店
・日高屋 小田原飯泉店
・日高屋 秋葉原駅南店
・日高屋 信濃町駅前店

2.今後の配属予定店舗（2022年3月18日 時点）
・日高屋 マーレ武蔵浦和店
・日高屋 エルミ鴻巣店
・日高屋 浦和町谷店
・日高屋 馬喰町西口店 ‥‥順次配属予定

3.配属日
2022年3月 から順次

4.配属の目的
・配膳、下膳の際の往復移動軽減による接客業務効率化
・重量物の運搬作業軽減による労働環境改善
・新型コロナウイルス対策の一環として、ソーシャルディスタンスの確保

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com